

## R2年度 3学期始業式

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

冬休みには、大きな事故や怪我の報告がなく、生徒の皆さんや先生方が、安全無事に過ごす事ができたことに感謝しています。また、こうして、皆さんの元気な顔を見ることができて、大変うれしく思っています。

昨年の3学期始業式では、今年は、庚子（かのえね）の年です。庚（かのえ）は十干の7番目で、季節で言えば秋の初めを意味し、結実や形成を表し、変化転換を示すとされています。子（ね）は、十二支の1番目であり、種が土の中で発芽したまさにその瞬間を、また、繁殖や発展を意味しています。つまり、庚子（かのえね）の今年は、新たな芽吹きと繁栄の始まりであり、新しいことを始めると上手くいくという年のようでありますから、皆さんも何か一つ新しいことをはじめてみるといいでしょうと話しました。

ところが、新型コロナウイルスの影響で、私たちの生活も一変し、新しい生活様式など、いやがおうにも新しいことを始めなければいけない状況になっています。私たちは、こうした状況を踏まえ、チャレンジしていかなければいけないのは、皆さんも十分承知していることでしょう。

先日、ある講演会で伺った内容ですが、少し紹介をしておきます。「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残るのは、変化（Change）出来る者である。」これは、ダーウィンの進化論ですが、続けてその先生は、変化、すなわち、Changeをスペルにしてみた。その中にGという文字があり、そのTを取るとCHANCE（チャンス）になる。それでは、Tの意味は、Taboo（タブー）にTry（トライ＝挑戦し）、Top（頂点）を取る、そうした気概を持っていたいという内容であり、目から鱗が落ちました。私も常にこうした気概を持ち続けたいと思っています。還暦を迎える私がこんなことを考えているのですから、前途ある皆さんは当然のことと思います。ぜひ、変えることを厭わず、挑戦してほしいと思います。

さて今年は、辛丑（かのとうし）の年です。辛（かのと）は十干の8番目で、植物が枯れて新しい世代が生まれようとする状態であることを意味しています。丑は、現代でこそ酪農などのイメージですが、実は人々の根本となる農業を手助けしてくれる重要な存在でした。こうしたことから丑年は、「耐える」「発展する前触れ」となる年となるようです。新型コロナウイルスの影響がある昨今の状況を考えると、まだまだ耐える年になるかも知れませんが、牛のように地道に進むことで新たな発展がある年にしてほしいと考えます。

皆さんの今後に期待して、3学期始業式の話とします。